

Rec'd PCT/PTO 28 JUN 2004

10/500396

PCT/JP 02/05927

日本国特許庁

JAPAN PATENT OFFICE

12.07.02

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出願年月日

Date of Application:

2002年 1月16日

出願番号

Application Number:

特願2002-007469

[ST.10/C]:

[JP2002-007469]

出願人

Applicant(s):

室岡 康資

REC'D 09 SEP 2002

WIPO

PCT

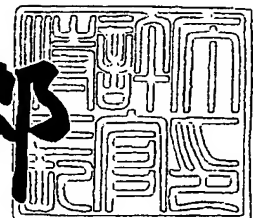
PRIORITY
DOCUMENT

SUBMITTED OR TRANSMITTED IN
COMPLIANCE WITH RULE 17.1(a) OR (b)

2002年 8月20日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

太田信一郎



出証番号 出証特2002-3063965

【書類名】 特許願

【整理番号】 P090112-03

【提出日】 平成14年 1月16日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 17/60

【発明者】

 【住所又は居所】 奈良県奈良市若葉台 3 丁目 5 - 3 9

 【氏名】 室岡 康資

【特許出願人】

 【識別番号】 592229591

 【氏名又は名称】 室岡 康資

【代理人】

 【識別番号】 100072213

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 辻本 一義

 【電話番号】 06-6766-6111

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 008958

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

 【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 駐車場利用システム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 駐車場利用者にアクセス先を知らせる手段、駐車場利用者からのアクセスがあった場合に駐車場利用者の端末装置に質問事項を送信する手段、及び駐車場利用者の端末装置から送信された前記質問事項に対する回答データを受信する手段を有することを特徴とする駐車場利用システム。

【請求項 2】 駐車場利用者の端末装置に質問事項を送信する手段は、その駐車場利用者が過去に送信した回答データに基づいて質問事項を適宜選択して送信するようにしたものとしている請求項 1 記載の駐車場利用システム。

【請求項 3】 駐車場利用者のデータを蓄積する手段を有し、駐車場利用者からの質問事項に対する回答データを受信した場合に、その駐車場利用者のデータに特典付与に関する情報を付加するようにした請求項 1 又は 2 記載の駐車場利用システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

この発明は、駐車場を利用して、各種の情報を取得できるようにしたシステムに関するものである。

【0002】

【従来の技術】

従来より、電子メールや郵便によるダイレクトメール等を利用して、各種商品やサービスに関する購入の勧誘が行われている。しかし、その商品等を全く必要としない人にまで勧誘が行われることが多いため、紙資源やネットワーク資源を浪費し、大きな無駄が生じており、また、当該商品等に興味のない人にとっては、このような勧誘は迷惑であり、かえって商品等や企業に対するイメージが悪くなる。

【0003】

一方、各地に駐車場が建設されており、さまざまな職業、年齢、性別のドライ

パー（駐車場利用者）が利用しているが、従来では、これらの駐車場利用者の情報を得ることにより、商品等の購入の勧誘が、その商品等を必要とする可能性がある人に適切に行われるようにしようという試みはなされていなかった。

【0004】

また、駐車場を利用するには、利用料金を支払わなければならないため、これを嫌って違法駐車を行う者が多いが、警察による取り締まりを厳しくする以外に、違法駐車を減少させる有効な手段はこれまで特に提案されてはおらず、違法駐車の状態はなかなか改善しなかった。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】

そこで、この発明は、各種商品やサービスの勧誘を適切に行うための情報が得られ、また、違法駐車の減少に役立たせることも可能な駐車場利用システムを提供することを課題とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】

前記課題を解決するため、この発明は次のような技術的手段を講じている。

【0007】

この発明の駐車場利用システムは、駐車場利用者にアクセス先を知らせる手段、駐車場利用者からのアクセスがあった場合に駐車場利用者の端末装置に質問事項を送信する手段、及び駐車場利用者の端末装置から送信された前記質問事項に対する回答データを受信する手段を有するものとしている。

【0008】

駐車場利用者の端末装置に質問事項を送信する手段は、その駐車場利用者が過去に送信した回答データに基づいて質問事項を適宜選択して送信するようにしたものとすることができる。

【0009】

また、駐車場利用者のデータを蓄積する手段を有し、駐車場利用者からの質問事項に対する回答データを受信した場合に、その駐車場利用者のデータに特典付与に関する情報を付加するようにしてもよい。

【 0 0 1 0 】

【発明の実施の態様】

以下、この発明の実施の形態を図面を参照して説明する。

【 0 0 1 1 】

この発明の駐車場利用システムは、駐車場利用者にアクセス先を知らせる手段、駐車場利用者からのアクセスがあった場合に駐車場利用者の端末装置に質問事項を送信する手段、及び駐車場利用者の端末装置から送信された前記質問事項に対する回答データを受信する手段を有するものである。

【 0 0 1 2 】

図 1 は、この発明の駐車場利用システムの構成の概要を示す図である。このシステムは、アクセス先をサーバーとし、このサーバーが、駐車場利用者の端末装置に質問事項を送信する手段、及び駐車場利用者の端末装置から送信された前記質問事項に対する回答データを受信する手段として機能し、また、その他様々な処理を行うようにしている。サーバーは、インターネット等の通信回線を介してアクセス可能なコンピュータとしている。

【 0 0 1 3 】

このシステムでは、運営者は、駐車場の管理者（経営者）、及びサーバーの管理者を兼ねることができるが、それぞれ別の者が担当してもよい。また、このシステムに参加する駐車場やサーバーは複数としてもよい。例えば、運営者を、一のサーバーと複数の駐車場を管理する者とすることができる。また、このシステムの運営者に各地の駐車場の管理者が加盟を申請することにより、各地の駐車場でこのシステムを利用可能とすることもできる。

【 0 0 1 4 】

質問事項の送信、回答の受信、その他サーバーと駐車場利用者（ドライバー）の端末装置とのやりとりは、NTTドコモ社のiモード等の携帯電話によるウェブサービスを利用することができる。また、電話でのテープの音声による自動応答システムを利用したり、人手（オペレータ）を介したりしたものであってもよい。

【 0 0 1 5 】

端末装置は、駐車場利用者が携帯する携帯電話や携帯型コンピュータとすることができるが、駐車場利用者の所有物である必要はなく、駐車場付近の電話ボックスや飲食店等に設置された公衆電話等とすることができる。また、駐車場利用者の家庭にあるパーソナルコンピュータを端末装置とすることもできる。

【0016】

端末装置は、iモード等を利用する場合は、サーバーから送信される質問事項を表示するため、複数行の文字を表示可能な液晶ディスプレイ等の表示装置を備えることが望ましい。

【0017】

端末装置からサーバーへの接続は、インターネットサービスプロバイダを介したダイヤルアップ接続、公衆電話回線、専用線による接続等適宜でよい。

【0018】

このシステムでは、駐車場利用者は、最初にサーバーにアクセスした際に登録を受けるようにしている。登録の処理は、サーバーによって行われる。登録の際には、駐車場利用者の氏名、住所、年齢、性別、メールアドレス等を入力する。必要な項目が入力されると、会員登録した旨と、パスワードの通知を行うようにしている。通知の手段は、インターネットや郵便等を利用することができる。

【0019】

登録の受け付けは、最初の質問の際に実施しても、あるいは、質問とは別に実施してもよい。登録の受け付け及び管理は、サーバー又は他のコンピュータで行う。登録により得た情報は、データベースに蓄積される。登録された駐車場利用者は、次回からの利用の際には、パスワードを入力するだけで、サーバーから質問事項を受信することができる。

【0020】

以下、携帯電話のiモードを用いた場合の、駐車場利用者によるこのシステムの利用の仕方について説明する。図2は、駐車場利用者の利用の手順を示す図である。

【0021】

駐車場利用者は、このシステムに加盟している駐車場に車を停車させる（図2

[a])。駐車場は、ゲートに管理担当者を配置してゲートの開閉及び駐車場利用者に発券させるようにした有人駐車場であっても、備え付けの料金集金装置に料金を投入すると、ゲートやロック装置により一定時間の駐車が可能となる無人駐車場であってもよい。

【0022】

そして、駐車場利用者は、アクセス先の通知を受ける(図2 [b])。この実施形態では、アクセス先は、サーバーによって運営されるウェブサイトとしており、駐車場利用者には、「http: //xxx. xx. xx」のような、そのウェブサイトのURL (Uniform Resource Locator) がアクセス先を知らせる手段によって通知されるようにしている。

【0023】

アクセス先を知らせる手段としては、例えば、駐車場のゲートに設置された発券機を利用することができる。この場合は、発券機により発券される券に、アクセス先のURLを記載する。また、駐車場内に設置した看板をアクセス先を知らせる手段とすることもできる。この場合は、前記看板にアクセス先のURLを掲載する。

【0024】

さらに、人手を介してアクセス先を知らせるようにしてもよい。例えば、駐車場のゲートに料金支払い受付者を配置し、会計時に、この料金支払い受付者が駐車場利用者にクーポン券を渡すこととし、そのクーポン券にアクセス先のURLを記載したものとする。

【0025】

駐車場利用者は、端末装置を使用して、アクセス先を知らせる手段により通知されたURLのウェブサイトアクセスする(図2 [c])。まだ前記登録を受けていない新規の駐車場利用者は、登録の画面に進む。既に登録を受けている場合、あるいは最初の質問の際に同時に登録を行うようにしている場合は、質問事項の画面に進む。

【0026】

質問事項の画面に進むと、サーバーから適宜の質問事項が送信されるので、こ

れを端末装置で受信する（図2〔d〕）。質問事項は、例えば、「車種は何ですか」、「車検の登録年月日はいつですか」、「現在、自動車保険に加入していますか」、「満期日はいつですか」のようなものである。質問事項の内容は、これに限定されず、様々なものとすることができる。

【0027】

駐車場利用者は、質問事項に対し、端末装置のボタン等の操作で回答を入力し、送信する（図2〔e〕）。送信の方法は、ウェブを利用したものや、電子メールを利用したものとすることができる。

【0028】

質問事項は、サーバーに蓄積された質問事項に関するデータベースの中から適宜選択されて送信される。質問事項の選択は、駐車場利用者が過去に送信した回答データに基づいて行うことができる。例えば、駐車場利用者の過去の回答データから、年齢、職業、購入商品等に関するキーワードを抽出し、このキーワードを用いて前記質問事項に関するデータベースの検索を行い、関連する質問事項が選択されるようにするとよい。

【0029】

サーバーは、駐車場利用者のデータを蓄積する手段を有し、駐車場利用者からの質問事項に対する回答データを受信した場合に、その駐車場利用者のデータに特典付与に関する情報を付加するようにしている。特典付与に関する情報は、例えば、駐車場利用者の質問事項に対する回答データの送信回数、駐車場の利用時間、回数等を把握できるようにしたものとすることができる。

【0030】

このシステムの運営者等は、前記特典付与に関する情報に基づいて、駐車場利用者に何らかの特典を与えることができる。例えば、質問事項に回答した駐車場利用者に対しては、30分間の駐車については無料としたり、割引を行ったり、次の駐車場の利用のためのクーポン券を発行するなどの特典を付与する。

【0031】

特典により、ドライバーは駐車場を積極的に利用するようになり、違法駐車の見込みを減らすことができる。さらに、このシステムに加盟している駐車場であることが駐車

場利用者による駐車場の選択の動機付けともなり、駐車場の稼働率を上げることができるので、駐車場の管理者にとってのメリットも大きい。

【0032】

有料となる駐車については、その決済を銀行の口座からの引き落としや、クレジットカード、電子マネーその他の電子決済システムによるものとすることができる。決済の手続きに関しては、端末装置を携帯電話とした場合、テープの音声による自動応答システムを利用する他、iモード等のサービスを利用することにより、携帯端末の画面表示で視覚的に操作できるようにすることができる。さらに、道路に設置したアンテナと自動車に搭載した機器との無線通信により決済を行うETC (Electronic Toll Collection、有料道路自動料金収受システム) を利用したものとする 것도できる。

【0033】

また、GPS (Global Positioning System) 機能搭載の端末装置であれば、GPSの位置情報により駐車場利用者を特定し、安全に決済を行えるようにすることもできる。

【0034】

駐車場利用者から受け付けた質問事項に対する回答は、データベースに蓄積し、様々な用途に活用することができる。例えば、ダイレクトメールの送付先の名簿の作成に利用すること可能である。

【0035】

このシステムの運営者は、駐車場利用者から前記質問事項に対する様々な回答データを得ることができる。前述の質問事項の例では、車検サービスの利用や保険商品の購入について参考となる、有用な回答データを得ることができる。従って、このシステムの運営者は、この回答データ又は回答データを加工して得た情報を、それを求める業者 (スポンサー) に販売することができる。そして、それにより得た利益を駐車場の管理費用等に当てることにより、駐車場の利用料を無料又は低額に設定することが可能となる。

【0036】

また、質問事項についても、スポンサーの希望により作成したり、あるいは、

スポンサーから提供されるようにしたりすることもできる。スポンサーは、車検サービスや保険に限定されず、多種の業種にわたるものとすることができる。

【 0 0 3 7 】

【発明の効果】

この発明の駐車場利用システムは、上述のような構成を有しており、各種商品やサービスの勧誘を適切に行うための情報が得られる。また、回答データを送信した駐車場利用者のデータに特典付与に関する情報を付加し、前記駐車場利用者が特典を受けられるようにすれば、駐車場の稼働率が上がり、違法駐車 of 減少に役立たせることも可能である。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

この発明の実施形態の駐車場利用システムの概略図

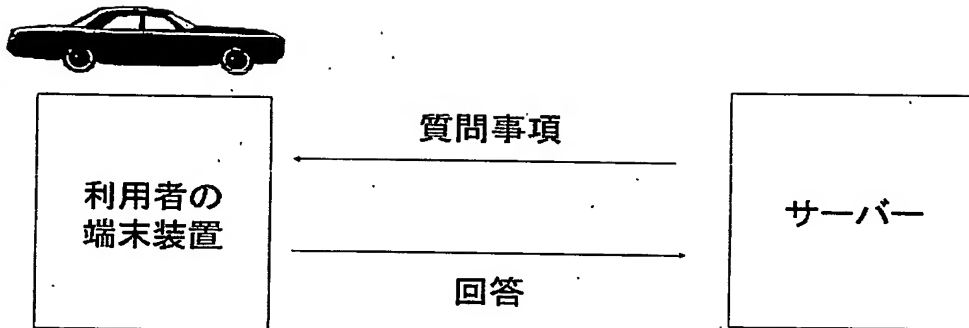
【図 2】

この発明の実施形態の駐車場利用システムの、駐車場利用者の利用の手順を示す流れ図。

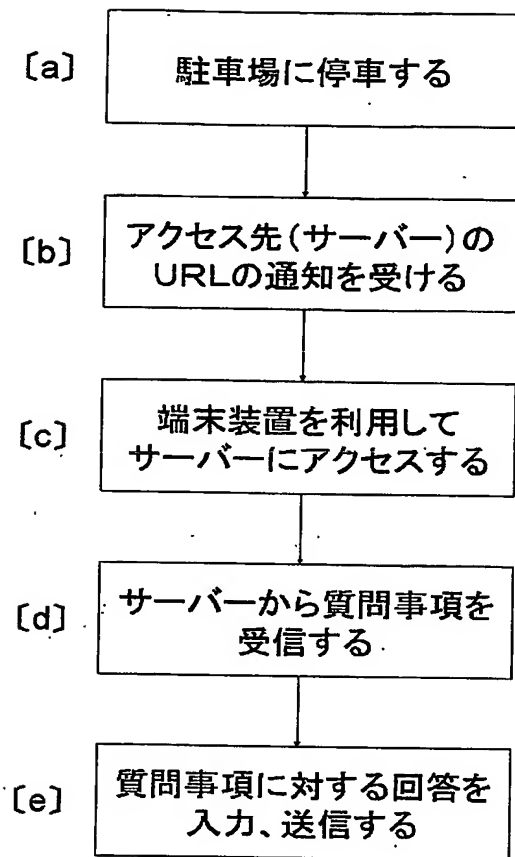
【書類名】

図面

【図 1】



【図 2】



【書類名】 要約書

【要約】

【目的】 各種商品やサービスの勧誘を適切に行うための情報が得られ、また、違法駐車の減少に役立たせることも可能な駐車場利用システムを提供すること。

【構成】 この発明の駐車場利用システムは、駐車場利用者にアクセス先を知らせる手段、駐車場利用者からのアクセスがあった場合に駐車場利用者の端末装置に質問事項を送信する手段、及び駐車場利用者の端末装置から送信された前記質問事項に対する回答データを受信する手段を有するものとしている。

【選択図】 図 2

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [592229591]

1. 変更年月日	1992年11月 5日
[変更理由]	新規登録
住 所	奈良県奈良市若葉台3丁目5-39
氏 名	室岡 康資